

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第7報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年5月13日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

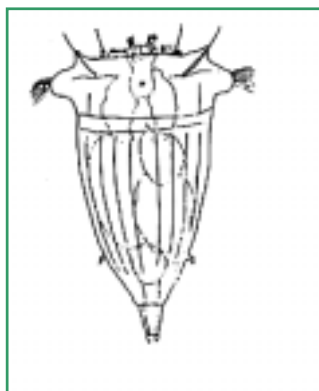
植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Synchaeta oblonga*  
(ナガマルドロウムシ)  
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント

淡水赤潮の原因となるウログレナは、群体が先週よりも小形化し、総細胞数も減少した。動物プランクトンは、先週に引き続きナガマルドロウムシが多く、1L中に920個体を計数した。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	920

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Epistylis rotans</i>	700

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成14年5月13日

第7報

## (2) 植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1300		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	30		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(珪) <i>Melosira varians</i>	30		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	140		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	120		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	17		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	260		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	16		
(珪) <i>Synedra acus</i>	180		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	24		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Hormidium</i> sp.	65		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	130		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	80		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	40		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	180		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	120		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1340	46.8	5.6
(珪) 珪藻綱	827	28.9	13.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	2.8	0.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	617	21.5	80.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	2864	総体積	7.57E+06
種 類 数	21	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各網ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。